「相模原駅北口地区土地利用計画（案）」に係るオープンハウス実施結果

■開催概要

日　時	場　所
7月　6日(日)　10時～15時	アリオ橋本1階グランドガーデン付近
7月　8日(火)　10時～15時	津久井総合事務所本館1階ロビー
7月10日(木)　16時～19時	相模原イッツ3階入口付近
7月17日(木)　10時～15時	市役所本館1階ロビー
7月27日(日)　10時～15時	相模大野ステーションスクエアA館6階

■実施方法

「相模原駅北口地区土地利用計画(案)」について、パネルにより概要や土地利用計画図等について説明・対話を行い、シール(1人3枚)や付箋を用いてアンケート調査を実施。

「相模原駅北口地区土地利用計画（案）」に係るオープンハウス実施結果

■参加者数

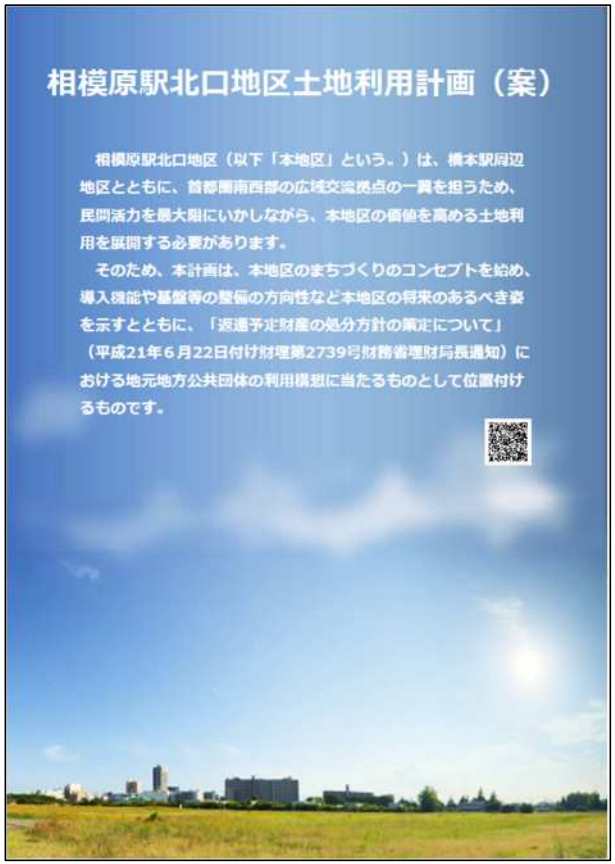
会　場	参加者
アリオ橋本	380人
津久井総合事務所	39人
相模原イッツ	96人
市役所本館	92人
相模大野ステーションスクエア	202人
合　計	809人

年　代	参加者
～19歳	218人
20歳～39歳	235人
40歳～59歳	210人
60歳～	146人
合　計	809人

■実施中の様子

「相模原駅北口地区土地利用計画（案）」に係るオープンハウス実施結果

■パネル内容



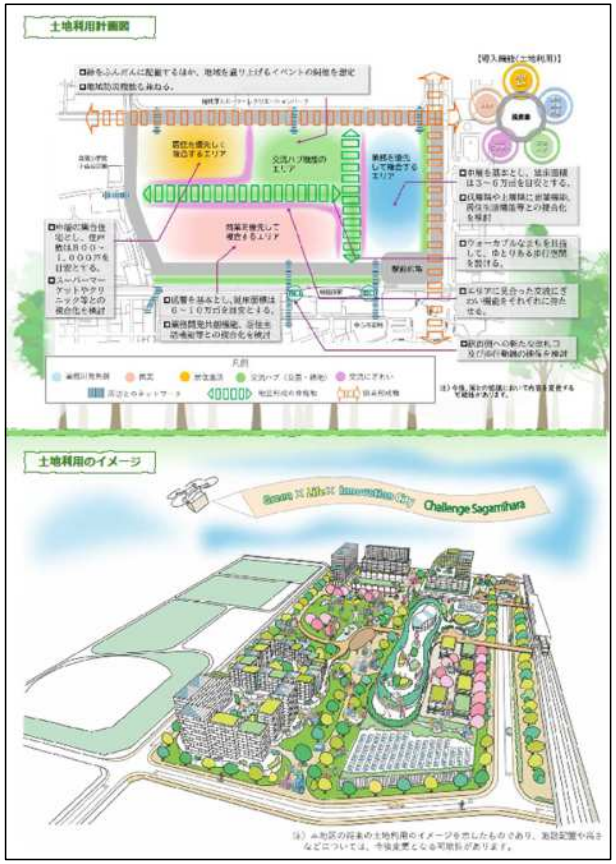
▲計画の目的について説明

▲本地区の概要及び検討の経過について説明

▲まちづくりコンセプトについて説明

「相模原駅北口地区土地利用計画（案）」に係るオープンハウス実施結果

■パネル内容



▲土地利用計画図について説明

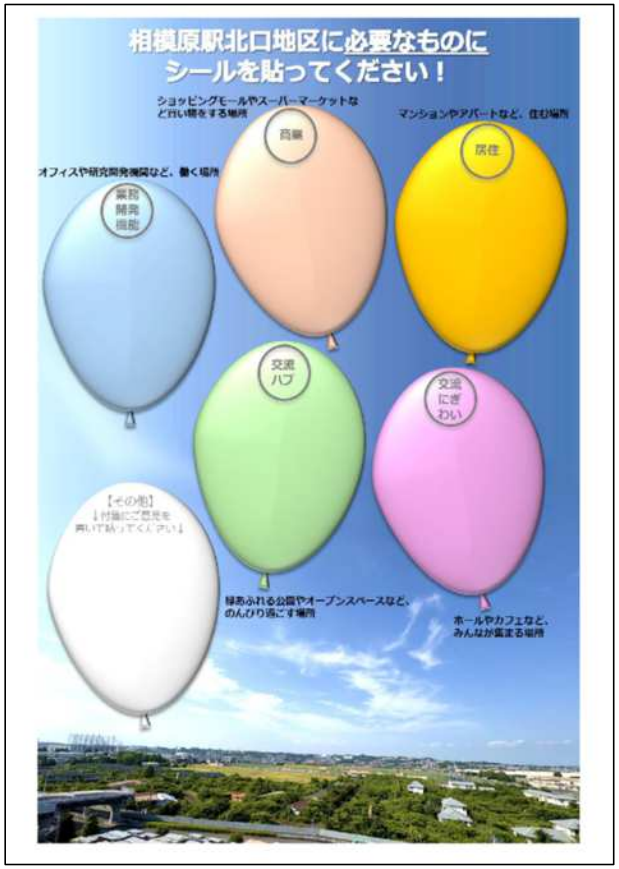
▲まちづくりの方針及び導入機能について説明

▲道路・交通ネットワーク等について説明

「相模原駅北口地区土地利用計画（案）」に係るオープンハウス実施結果

■パネル内容

▲土地利用の参考イメージについて説明



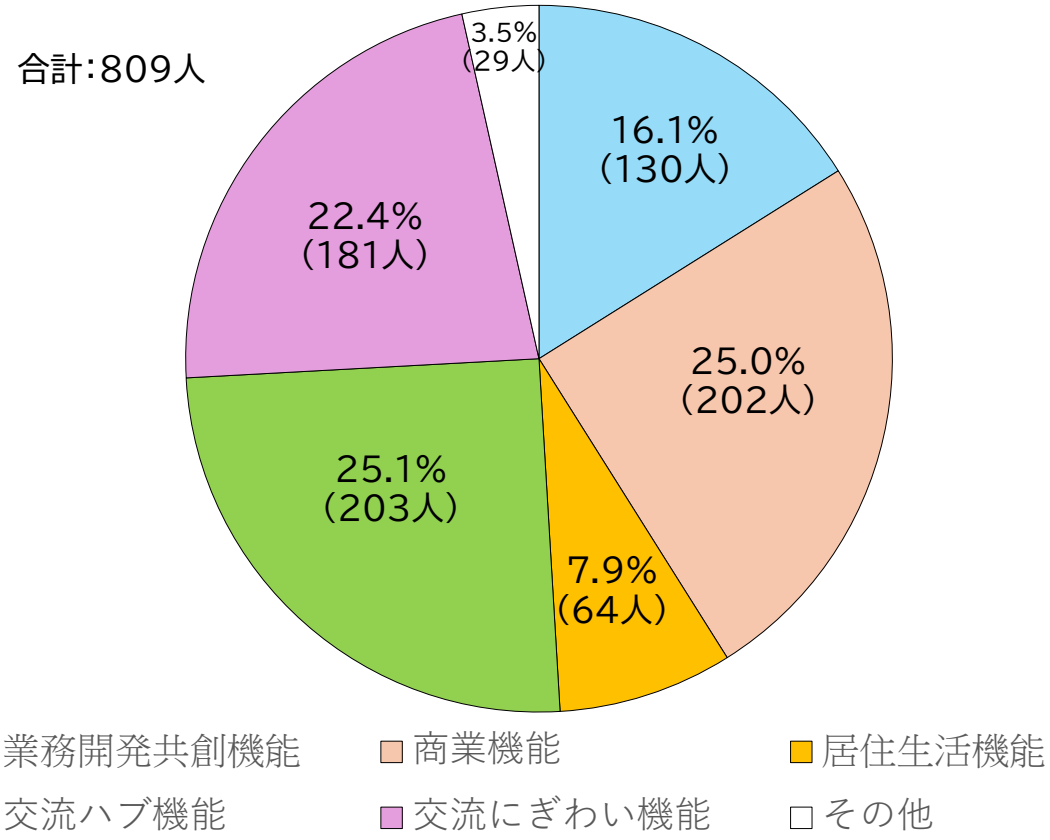
▲相模原駅北口地区土地利用計画(案)に係る設問

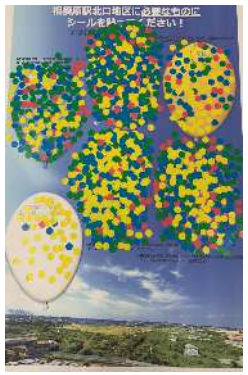
「相模原駅北口地区土地利用計画（案）」に係るオープンハウス実施結果

■実施結果（総合）

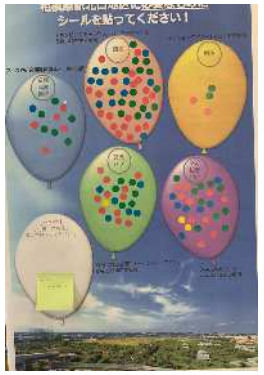
「相模原駅北口地区に必要なものにシールを貼ってください！」

合計：809人

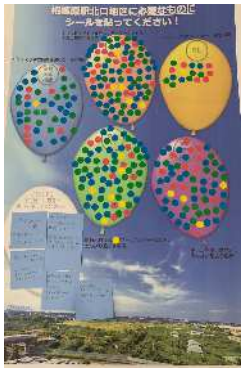




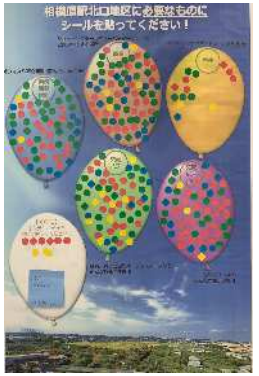
▲アリオ橋本



▲津久井総合事務所



▲相模原イッツ

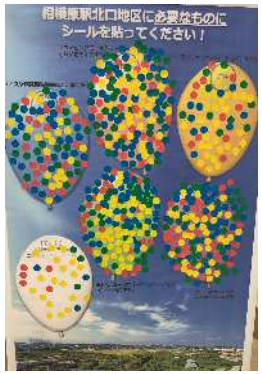


▲市役所本館

＜総評＞

・交流ハブ、商業、交流にぎわいに関する機能に対する関心が高く、全体の約7割（72.5%）がこれらを必要と考えている。一方で、「居住生活機能」への関心は低く、本地区においては住宅整備よりも訪問型・交流型の機能への視点が強い傾向がある。

・「業務開発共創機能」も一定の支持があり、ビジネス拠点としての期待もある。

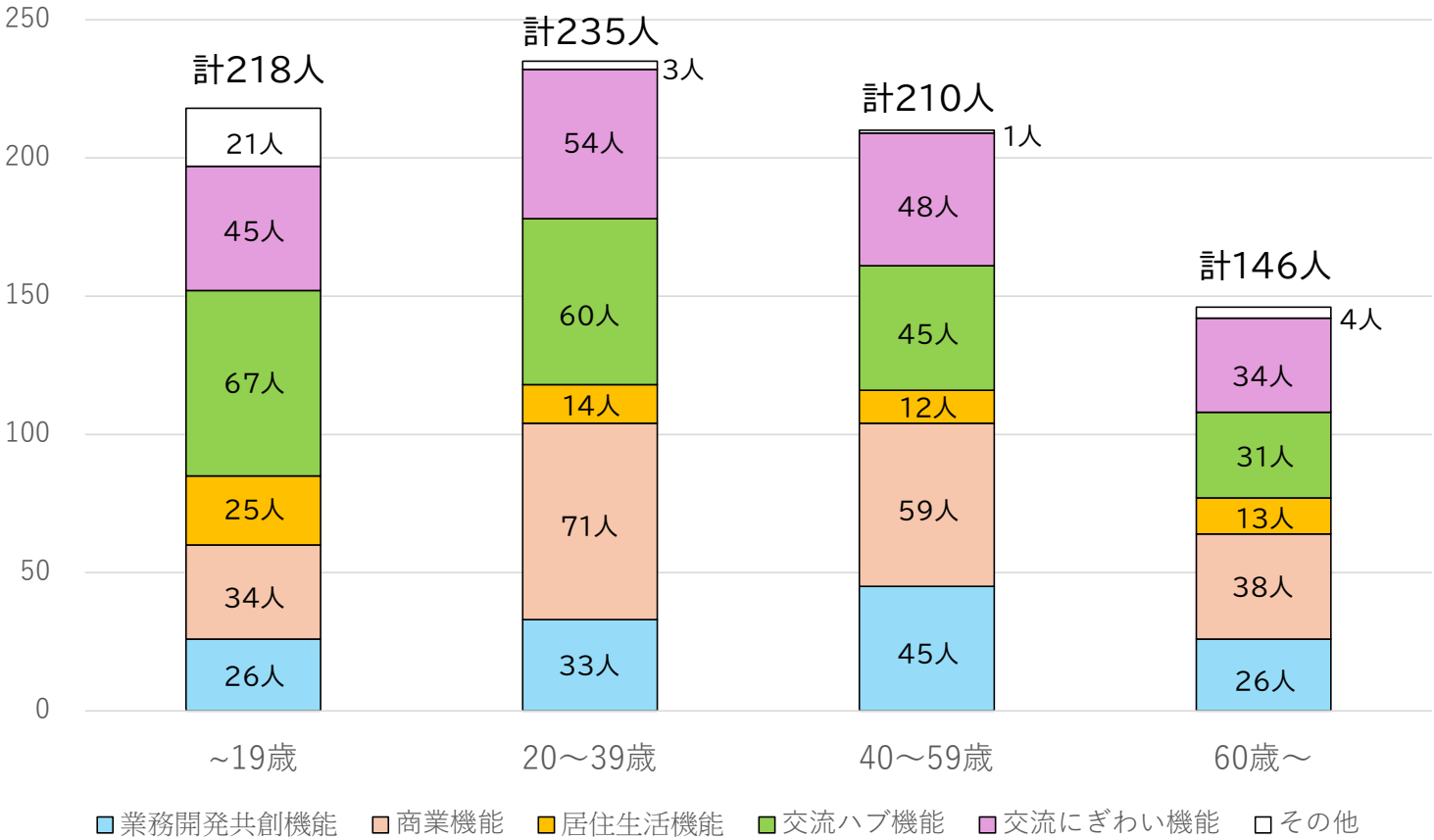


▲相模大野ステーションスクエア

「相模原駅北口地区土地利用計画（案）」に係るオープンハウス実施結果

■実施結果（年代別）

「相模原駅北口地区に必要なものにシールを貼ってください！」



＜～19歳（計218人）＞

最も多かった意見が「交流ハブ機能」となり、交流にぎわいや商業に関心が高い。

＜ 20～39歳（計235人） ＞

最も多かった意見が「商業機能」となり、この年代は子育て世代が多いため、利便性やにぎわいを求める傾向が強い。

＜ 40～59歳（計210人） ＞

最も多かった意見が「商業機能」となり、働き盛り世代として業務・交流ハブ・にぎわいなどどの機能に対しても関心がある。

＜ 60歳～（計146人） ＞

最も多かった意見が「商業機能」となり、高齢者層もにぎわいや交流への期待が高い。

「相模原駅北口地区土地利用計画（案）」に係るオープンハウス実施結果

■実施結果（その他29人）～自由意見～

＜主な意見＞

①導入機能に係る意見

・向陽小学校側に地域型ホールを実現して欲しい。また、学校の体育館が小さく狭いので、それに代わるものがあると嬉しい。
・ユースセンターなど、若者が集まれるところがあると活気が出るのでは。
・長崎のような商業とスタジアムがいい。相模大野みたいのはいらない。
・駅近に市役所の窓口移管を希望する。
・スタジアムのようなとがったまちづくりが必要。相模原市のブランド化につながる。

②都市基盤に係る意見

・乗降しやすい車用ロータリーや駐車場を希望します。住民が住みやすい駅前づくりを。
・道路の整備を充実して欲しい。
・橋本駅、相模大野駅と同様、相模原駅もJRだけではなくて複数の線路をつなげて欲しい。

③まちの維持管理に係る意見

・緑がたくさんあることはいいことだが、街路樹の管理はしっかりして欲しい。
・税収につながるまちづくりが良い。（税収を市全体のまちづくりに回して欲しい）